

団体の活動の質的向上を目的に、東北風景街道協議会委員による現地指導と意見交換会を実施

- ・実施日：令和元年11月6日（水）
- ・参加委員：（株）東北地域環境研究室 代表 志賀 秀一 氏、
（一社）まちの魅力づくり研究室 理事 堀 繁 氏

計 2 名

①現地視察



あじさいロード



法量のいちよう



奥入瀬溪流

②意見交換会（参加委員等の意見）

＜志賀委員＞

- ・自分たちが良いと思ったものを残していき、外から来られた方がまた来たくなるように地域の魅力を伝えていくことが大切。
- ・自分たちの活動や自然豊かな景観を次の世代にどのように繋いでいくかがポイントとなる。

＜堀委員＞

- ・人の評価の特徴として、「人を誘うかたち」と「丁寧なかたち」はプラスに評価される。
- ・限られた労力で景観の整備をしていくには、「たくさん」よりも、「少しを丁寧に」という考え方も大切。
- ・ベンチなどの「人を誘う」空間を作ることで、観光客を引きつけることができ、お金を落としてもらい仕組みづくりにも繋がる。



意見交換会の様子

③今後の展開

街道の景観整備・計画づくりにおいて、参加したパートナーシップと行政が、今後積極的に調整を行う事について、改めて確認するとともに、連携をより強化していくこととした。